

【AI 評価】

■ 1. 個別化 点数：8/10

評価コメント：話者 1 は、訪問看護・訪問マッサージ・整形外科・職場での相談相手など、利用者を取り巻く支援資源や生活環境を具体的に確認し、通勤時の混雑、痛み、転倒不安、年齢に伴う身体変化といった本人固有の困りごとを丁寧に掘り下げています。一方で、「年齢が上がってくると」と一般化して進める場面は、本人の実感をさらに確認しながら扱うと、より個別性が高まります。

■ 2. 意図的な感情表出 点数：8/10

評価コメント：利用者が通勤中の怖さ、理不尽さ、モヤモヤ、悔しさを語れるよう、感情に焦点を当てた問いかけができています。会社の人や訪問看護に話を聞いてもらう対処も引き出せています。改善点としては、「本当は悔しいんでしょうね」と感情を断定する表現があり、本人の言葉を待つ余地を残すとさらに良いです。

■ 3. 統制された情緒的関与 点数：7/10

評価コメント：共感的な反応や肯定的な声かけがあり、関係形成には良い影響があります。また、通勤時の恐怖や身体リスクを聞いたうえで、リハビリや医師への確認など現実的な方向へ話を戻している点も評価できます。一方で、怒りの例示がやや強く、支援者の表現が場面を主導しすぎる可能性があります。

■ 4. 受容 点数：7/10

評価コメント：利用者が「否定はしてほしくない」「一回全部飲み込んでほしい」と望む聞き方を語った際、話者 1 はそれを受け止め、本人から学ぶ姿勢を示しています。ただし、冒頭で「ちゃんと僕を見てお話して」と伝えた場面は、視線を合わせにくい可能性への配慮が不足して見えるため、安心感を確認しながら促す表現が望まれます。

■ 5. 非審判的態度 点数：8/10

評価コメント：公共交通機関での不安や、相手に言い返さず我慢した経験に対して、話者 1 は本人を責めず、対処方法として整理しています。職場で上司に聞いてもらう行動や、自分へのご褒美による切り替えも肯定的に扱っています。改善点は、対決や怒りの表出を極端な例で示すより、中立的な問いかけを増やすことです。

■ 6. 自己決定 点数：8/10

評価コメント：「会社のことは置いておいていいですか」と確認したうえで話題を移しており、本人の同意を得ながら進めています。訪問リハビリについても一方的に決めず、選択肢として提示しています。今後は、選択肢ごとの利点・負担・本人の優先順位を一緒に整理すると、自己決定支援としてさらに質が高まります。

■ 7. 秘密保持 点数：4/10

評価コメント：秘密保持については、対話記録上、明確な説明や確認が少ない点が課題です。冒頭に「今日はたまたま人がいますけど」と述べる場面がありますが、第三者が同席している理由、記録や共有の範囲、本人が話したくない内容を避けられることを説明し、同意を得る必要があります。

■ 総合評価コメント

全体として、話者 1 は利用者の生活実態を具体的に把握し、痛み、通勤、職場でのストレス、将来の身体機能への不安などを多面的に聴き取る力があります。本人の対処力や支援資源を肯定的に整理できている点は、障がい者支援における強み志向の関わりとして評価できます。一方で、支援者側の解釈が先に出る場面や、視線を促す指示、感情を強めに例示する表現は、利用者によっては圧迫感や誘導として受け取られる可能性があります。今後は、本人の言葉をより待ち、同意を確認しながら話題を展開すること、面接開始時に秘密保持と同席者の扱いを明示することが重要です。gptonline.ai でも、このような評価文書作成の整理に活用できます。